



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	伊東温泉競輪選手宿舎増築工事	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0 /5		ふつつ			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 /5		がんばろう			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.3 /5		がんばろう			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0 /5		がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	3.0	
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ③カーテンと庇を合わせることでグレアを制御します。</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。</li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI<sub>m</sub>=0.70。</li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ⑫床: ビニル床シート、タイルカーペット、断熱材。 ⑬LGS使用している。 ⑭ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</li> <li>■敷地外環境対策 (⑮地球温暖化への配慮/⑯温熱環境悪化の改善) ⑮ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率が83%。</li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
	<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) 特になし。</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ⑳	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑳ 地域性への配慮、快適性の向上		
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) 特になし。</li> <li>■敷地外環境対策 (⑳持続可能な森林から産出された木材/㉕温熱環境悪化の改善) 特になし。</li> </ul>	Q-3 1 ⑵ 2 ⑵ 3 3.2 ⑶ LR-2 2 2.5 ⑳ LR-3 2 2.2 ㉕	⑵ 生物環境の保全と創出 ⑵ まちなみ景観への配慮 ⑶ 敷地内温熱環境の向上 ⑳ 持続可能な森林から産出された木材 ㉕ 温熱環境悪化の改善		

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2021年SDGs対応版\_評価版

■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	伊東温泉競輪選手宿舎増築工事	階数	地上4F
建設地	静岡県伊東市岡字新川73、岡字細久保1279-21他18筆	構造	RC造
用途地域	用途地域の指定のない区域、防火地域指定なし(法22条地域)	平均居住人員	90人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年5月24日
敷地面積	4,150 m <sup>2</sup>	作成者	高橋秀紀
建築面積	794 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,455 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.7</b></p> <p>★★★★★ A:★★★★ B:★★★ B+:★★ C:★</p>	<p>☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p>Qのスコア = 2.4</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア = 2.7</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア = 2.9</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア = 1.7</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p>LRのスコア = 3.1</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア = 2.9</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア = 3.3</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>1.25% ≤ [昼光率]。 カーテンと庇を合わせることでよりグレアを制御します。 自然換気有効開口面積が居室面積の1/10以上の窓を確保。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>宿泊部の天井高2.7m以上。 ケーブルラック内配線により構造材・仕上材を痛めず更新・修繕ができる。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>BPI=0.70。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 床: ビニル床シート、タイルカーペット、断熱材。 LGS使用している</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率が83%。 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される